



三井金属鉱業株式会社

三井金属

東京都品川区大崎 1-11-1
郵便番号 141-8584

平成 17 年 7 月 20 日

報道各位

三井金属 八戸製錬（株）の持株比率拡大

～日鉱金属株式会社保有の持分株式購入
および同和鉱業からの受託生産中止へ～

当社 三井金属（社長 榎原 紘）は、日鉱金属株式会社（社長 岡田昌徳 以下、日鉱金属社）が保有する八戸製錬株式会社（社長 前田 敏 以下、八戸製錬）の持分株式全てを購入することとし、このたび、両社合意に達しました。

また、八戸製錬と同和鉱業株式会社（社長 吉川廣和 以下、同和鉱業社）の両社は、同和鉱業社の八戸製錬への委託生産を中止することを決定いたしました。

<八戸製錬の持株比率拡大>

このたび、日鉱金属社保有の持分株式（比率 27.81%）を当社が全て購入することで、八戸製錬の出資企業は、従来の 4 社から 3 社となり、これまで 57.70%の当社持分比率は、85.51%へと拡大いたします（【ご参考】参照）。

<同和鉱業からの委託生産中止>

一方、同和鉱業社からの要請により、平成 18 年 3 月末をもって、八戸製錬における同和鉱業社からの委託生産を中止することに、八戸製錬と同和鉱業社において決定いたしました。

当社は今後、八戸製錬および同社への出資各社とも協議を行い、同和鉱業社からの受託生産分（八戸製錬の年間亜鉛生産量の 14.64%）の取扱いの詳細を決定する予定です。

<亜鉛事業強化を加速>

当社は、亜鉛事業において国内トップシェアを確保しており常に市場をリードしてまいりました。現在、有利原料への転換・環境リサイクル分野への貢献などを軸に更なる事業強化を進めております。今回の株式購入および委託生産中止は、それらの施策を加速させる極めて有効な機会ととらえており、かつまた、当社が主導で進めることが不可欠なことと判断し実行に至りました。

今後も当社は、国内の亜鉛製錬業界におけるリーダーとして、一層の競争力向上と業容拡充を図り、非鉄製錬業界の躍進、更には、環境事業を通じ社会に貢献してまいります。

以上

【ご参考】

八戸製錬株式会社

非鉄金属各社の出資による共同製錬会社であり、主に、亜鉛・鉛を生産する。

所在地 : (本社) 東京都品川区大崎 1-11-1

代表者 : 取締役社長 前田 敏

資本金 : 4,795 百万円

出資比率 : < 従 来 >

三井金属 57.70%

日鉱金属(株) 27.81%

東邦亜鉛(株) 10.48%

日曹金属化学(株) 4.01%

< 今 後 >

三井金属 85.51%

東邦亜鉛(株) 10.48%

日曹金属化学(株) 4.01%

生産量 : 04 年度実績 亜鉛地金 108,500 t / 鉛地金 39,500 t

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画部広報室 浅木
亜鉛事業部 大下

TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029

TEL 03-5437-8063 FAX 03-5437-8074

Eメール koho@mitsui-kinzoku.co.jp